

私と国有林

「森林づくりを目指して」

美しい背あぶりの森をつくる会 代表 雪 孝一

私が所属する美しい背あぶりの森をつくる会は平成13年10月に一般公募し、森林づくりを通じて「森林との共生」「緑を大切に」等といった目的に賛同していただいた方々約20名で結成活動を始めました。この頃会津森林管理署担当者から会津若松市東山ダム周辺の湯本山国有林の紹介を受け、

- (1) 広さが約一・五畝と会で管理できる広さである。
- (2) 道路続きである。
- (3) あまり森林の中に入らない。

等を理由に、この場所で森林づくりを始めることにしました。

そして、管理署担当者の指導を得ながら始めてみると、背たけもあるヨシ、クズ等草刈には大敵な植物ばかりで、我々には手に負えないような状態でした。そこで助成金を申請し、その助成金により土の表面のヨシの根、クズ等を取り除く作業をし、やっと平成14年の10月に第1回目の植林をすることができました。

そして、この場所を「悠遊の森林(もり)」と会では命名し、サクラ、

トチ、ミズナラ、コナラ、モミジ等を植林したのですが、一番活着率の悪かったのは意外な結果で、ミズナラ、コナラでした。そこで会員の私たちと色々調べてみると、この土壌は東山ダム建設中の土捨て場だったので、水はけの良い所と悪い所が



クリーンアップ作戦

極端になっていったためと判断し、枯れては植え、枯れては植えてきました。

この「悠遊の森林」では、6月と10月には里山づくりというテーマで一般公募した参加者と一緒になって植林をしたり、枯れた木を植え直したり、樹木の剪定等の活動をしています。そのイベントのため、1ヶ月前から会員の私たちは週末になると草刈をしてイベントの準備をしています。植林して10年目にして、サクラ、コブシの花が咲いてくれたことは、大きな成果であるとともに嬉



森林散策会

しいものでした。

また、「悠遊の森林」の北側に蛇沢という名の沢があり、その途中にあるちよつとした平場をホタルの住める沢づくりとして草を刈ったり、カワニナを放したりいろいろと試してみました。あまり効果は出ていませんが、これからも続けていくつもりです。

この活動が平成15年9月国土緑化推進機構全国育樹活動コンクールで「緑化推進機構理事長賞」という大きな賞をいただき会員一同大変喜んでます。

これからも悠遊の森林づくり活動を会員の方々と一緒になって盛り上げていきたいと思えます。



表彰を受けた著者(左から2番目)